

空気環境測定業務仕様書

この業務は、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」（昭和45年4月14日法律第20号）に基づき、北海道上川合同庁舎内における空気環境測定を次のとおり行うものとする。

1 測定者

測定を行う者は、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則第26条第2項」に規定する空気環境測定実施者とする。

2 測定項目及び管理基準

測定項目	管理基準	摘要
浮遊粉じんの量	0.15 mg/m ³ 以下	
一酸化炭素の含有率	10 ppm以下	
二酸化炭素の含有率	1,000 ppm以下	
温度	17～28℃	機械換気設備を除く
相対湿度	40～70%	機械換気設備を除く
気流	0.5 m/s 以下	

なお、機械換気設備を設けている室等であっても、すべての項目を測定するものとし、報告書の記載に当たっては、備考欄等に「管理基準外」と表示をすること。

3 測定時期

原則として奇数月の第2週の計6回行うものとする。

4 測定ポイント

室内22ポイント、外気2ポイントの測定を行うものとし、測定箇所は別添図のとおりとする。（計24ポイント）

5 測定位置

当該建築物の通常の使用時間中に居室の中央部の床上75cm以上120cm以下の高さで測定するものとする。

6 1回の測定回数及び時点

測定回数は、1ポイント当たり2回とし、それぞれ10時及び15時を目安にし、測定を行うものとする。

7 測定機器

「建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則第3条第1項第1号」に規定する測定器又はこれと同程度以上の性能を有する機器を使用するものとする。

8 測定結果報告

測定を実施したときは、測定結果を記載した報告書を提出すること。

なお、測定の結果、管理基準に適合しない室等がある場合は、その内容を備考欄等に記載すること。

9 その他

- (1) 測定を実施するときは、事前に測定日、測定者を記載した書面を業務担当員に提出し、確認を受けること。
- (2) 測定に要する機材及び消耗品は、受託者の負担とする。
- (3) 測定実施中は、身分証明書等を常時携帯し、業務担当員等から提示を求められたときは、身分証明書等を提示すること。
- (4) 業務の処理に関し疑義が生じた場合は、業務担当員と協議をすること。